

長野大学紀要

第39卷第3号 (通巻第141号)

長野大学

2018年3月

長野大学紀要

第39卷第3号 (通巻第141号)

長野大学

2018年3月

目 次

〈論 文〉

地方都市の貧困問題

—生活相談ケース記録を通して— (2)

.....久保木 匡 介・鈴木 忠 義・石 坂 誠..... 1

自治体主催「自殺予防ゲートキーパー養成研修」に対するプログラム評価の実施

—PDCAサイクルを通じた「取り組みの改善」を目指して—

.....塩 津 博 康.....11

脳性まひ者のキャリア支援可能性

—通常学級出身者のライフヒストリー分析—

.....丹 野 傑 史.....21

日本思想史のルネサンスとしての古学

—日欧思想史の比較研究と社会科教育への反映 (3) —

.....徳 永 哲 也.....29

「総合的な学習の時間」における外部人材活用の意義と課題

—「協働」概念による課題の克服を目指して—

.....早 坂 淳.....41

地域文化資源の身体感覚教育論の視点からの分析

—信州上田下之郷三頭獅子舞保存会の事例を中心に—

.....松 田 和 彦.....53

〈研究ノート〉

英語教育研究のためのフォーカスグループインタビュー

—学修者の声より課題を分析する—

.....北 村 優 子.....87

長野大学紀要編集規程

(名称および発行)

第1条 本誌を「長野大学紀要」(以下「本紀要」という。)と称し、年4回発行することを原則とする。

(目的)

第2条 長野大学において教員が行っている研究および本学で実施された共同研究や受託研究の成果を学内外に紹介し、長野大学の教育・研究活動の活性化に寄与することを目的とする。

(編集委員会)

第3条 長野大学図書館運営委員会のもとに、長野大学紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)を置く。編集委員会委員長は図書館運営委員会委員長が兼ねる。

2 本紀要の原稿の募集・編集は編集委員会が行う。

(投稿資格)

第4条 投稿できる者は原則として本学の専任教員、客員教員、名誉教授とする。ただし、本学の非常勤講師等も投稿することができる。

2 本学の教員と共同研究を行う者。

3 本学学生・研究生等は、投稿資格を有する教員等が共著者である場合は投稿を認める。

4 その他編集委員会が認めたもの。

(投稿原稿)

第5条 本紀要に掲載する原稿は他に未発表のものに限り、種類は次の各号に掲げるものとする。

(1) 論文

(2) 研究ノート

(3) 書評

(4) その他の編集委員会の認めたもの

(研究倫理の遵守)

第6条 本紀要に投稿する原稿は、長野大学研究倫理規程に則ったものであること。

(点検)

第7条 本紀要に掲載される論文等の水準を維持するために、編集委員会が点検を行う。場合によっては編集委員以外の者の意見を聞くことがある。

2 編集委員会は点検の結果に基づき、原稿の内容について執筆者に修正を求めることがある。

3 点検についての詳細は別に定める。

(掲載の可否)

第8条 編集委員会は点検結果に基づき、投稿原稿の掲載の可否を決定する。

(著作権)

第9条 本紀要に掲載された論文等の著作権の取り扱いは、以下のとおりとする。

(1) 著作権は著者に帰属する。

(2) 著者は著作物の複製権と公衆送信権の行使を大学に委託する。

(3) 本紀要に記載された論文の全部あるいは大部分を他の著作物に利用する場合には、その旨を編集委員会に申し出るとともに、出典を明記すること。また、一部を利用する場合にも、文献あるいは図説の下に出典を明記すること。

(論文等のネットワーク上での公開)

第10条 本紀要に掲載された論文等は、原則として電子化し、長野大学ホームページ等を通じてネットワーク上に公開する。

2 公開を希望しない場合は、寄稿申込時に所定の手続きにより、公開を拒否することができる。

(配布)

第11条 発行された紀要は専任教員、客員教員、名誉教授および非常勤講師等へ配布する。

(抜刷)

第12条 執筆者には抜刷50部を配布する。ただし、50部をこえる分については執筆者がその費用を負担するものとする。

(執筆要領)

第13条 原稿は別に定める執筆要領にしたがうこととする。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、全学教授会の意見を聴き、学長が行う。

附則

本規程は平成29年4月1日から施行する。

編集委員会

委員長 京谷 栄二

委員 高木 潤野、高橋 一秋、塚瀬 進

中島 豊、望月 宏祐

2018年3月25日 発行

長野大学紀要 第39巻第3号(通巻第141号)

編集 長野大学紀要編集委員会

発行所 長野大学

長野県上田市下之郷 658-1

TEL (0268)39-0005

印刷 田口印刷株式会社

上田市殿城 425-1

TEL (0268)22-0680

BULLETIN OF NAGANO UNIVERSITY

Vol.39, No.3, March 2018

CONTENTS

Articles

On Poverty in a Local Area :

An Analysis of Case Records (2)

Kyosuke KUBOKI · Tadayoshi SUZUKI · Makoto ISHIZAKA ··········· 1

Implementation of Program Evaluation for "Suicide Prevention Gatekeeper Training Course"

Organized by Local Government :

Toward "Improvement of Initiatives" Through PDCA Cycle

Hiroyasu SHIOTSU ··········· 11

Possibility of Career Support for A Person with Cerebral Palsy :

Analysis of Life History

Takahito TANNO ··········· 21

KOGAKU(Researches of Ancient Learning) as A Renaissance in Japanese Thought History :

Comparative Research of Japanese and Western Thought Histories,

And its Reflection to the Education of Social Studies (3)

Tetsuya TOKUNAGA ··········· 29

The Significance and Problems of Community Resource Utilization

in "the Period for Integrated Studies" :

Toward Solving the Problems with the Concept of "Collaboration"

Jun HAYASAKA ··········· 41

Analysis of Regional Cultural Resources from the Viewpoint of Physical Sensory Education Theory :

Focusing on the Case of the Shinto Ritual "Shimonogou Mikasira-Jishi" Preservation Association

Kazuhiko MATSUDA ···········53

Research Notes

Focus Group Interviews for English Education Research

Yuko KITAMURA ···········87